

第1回「起ちあがる 介護労働者交流会」のご案内

国は、11月11日を「いい月いい日、介護の日」としてキャンペーンを行っています。「何がいい日か。安い賃金、悪い労働条件を押し付け、介護難民も生まれているのに」と、私たちは昨年11月11日、大阪市内で抗議の意思を街頭に出て示しました。今年は、多くの介護労働者と介護関係団体による「介護労働者交流集会」を企画しました。多くの仲間への参加を呼びかけます。

11月11日(日)田中機械ホールに集まろう！

（第1部）「討論・検討」 午前11時～12時30分

全国の仲間と共に「介護労働者の権利宣言」を創りあげる検討会

（第2部）「映画と討論・交流」 午後1時30分～4時

* 映画「オキュパイ ベーカリー」

ニューヨークの移民労働者の起ちあがりと勝利の記録

* 「権利宣言採択」みんなで報告・討論

各地からの報告やメッセージをお願いします

（第3部）「連帯・交流パーティ」午後4時～

地ビールで乾杯！

（参加費等） 第1部～第3部 参加～ 3,000円

第2部 のみ参加～ 500円

（関西圏以外からの参加者へはカンパで支援を募る）

実行委員会／賛同
団体募ります！

11・11 集会実行委員会 主催

＜参加団体＞

介護・福祉総がかり行動／ケアワーカーズユニオン／NPO みなと／港合同南労会支部

／安心できる介護を！懇談会／全国一般労働組合東京南部ケアワーカー連絡会他

（賛同団体）働く女性の全国センター（ACW2）／オレンジコープ（泉南生活協同組合）他

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

「第1回 起ちあがる 介護労働者交流会」の狙いと内容

* 今、介護労働者の立ちあがりは決定的な役割と意義をもっています。日々の実践を持ち寄り、私たちの意思を「介護労働者の権利宣言」という形で表してみようという試みです。

第7期介護保険事業で国・厚労省は、自治体に介護給付を抑制する管理・統制の役割を担わせ、地域包括センターと介護関連事業所のケアマネージャを統制・誘導して高齢者自身の自己決定や自主性を無視して、「自分らしい安心・安全な老後を過ごす」権利を奪う方向へと走り出しました。この動きは、障害者の権利と生活を守る事業と活動にも波及してきます。介護労働者が高齢者や障害者と共に築きあげて来た「その人らしい人生をおくる」権利と介護の在り方を解体していく動きに、私たちは、No!の声を上げましょう。

* 映画「オキュパイ ベーカリー」

とても感動的なドキュメンタリー映画です。ニューヨークのパン屋で働くメキシコ系移民労働者が立ちあがり、店の身売り攻撃にも地域の仲間達の支援を受け勝利！その後、飲食店の労働者の組合結成の流れが生まれました。私たちも、この世界の底辺から立ちあがった労働者の団結の力と誇りから学びたいと考えます。

* 各地の仲間からの報告とアピールを受けます。

介護労働者や心ある介護関係事業者の連帯と行動の輪を広げ、深めていく「介護労働者の交流事業」を発展させていく第1歩を踏み出しましょう！

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

田中機械ホール（地ビールレストラン “地底旅行” 敷地内）

1970年代から大阪南部の中小企業の労働組合は、倒産攻撃にも
中小企業を支配する背景資本を追及し、労働者・労組の権利を奪い取って来ました。
全金田中機械支部と港合同は、その中心的拠点。「田中機械ホール」は、長く熾烈な
争議解決の結晶。今も、港区南市岡の地に根づき、息づいています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！